

児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

公表日：2023年12月21日

事業所名：feel小久保

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
環境・体制整備	1 利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	<p>【各部屋の使用状況】療育スペースの確保と密を避けるために1号室と5号室に分かれて療育を行っています。 必要に応じてパーテーションで区切り個別療育時に集中しやすい環境やクールダウン出来る場所を整えています。必要のない時は広い空間で過ごせるように配慮しております。 ※携帯の画面で下記のURLを長押しするとリンクにアクセスができますのでご確認をお願いします。この後もURLが張り付いている場合はご確認して頂けたら幸いです。 https://cocotoko.com/office</p> <p>【安全面への配慮】フローリングの上にジョイントマットを敷き、背の高い家具には転倒防止の伸縮棒を設置しています。運動などの動きがある活動をする時には、机や玩具の棚を移動させ、広くしてから活動することで、安全面に配慮をしています。</p>	<p>はい75% どちらともいえない12.5% わからない12.5%</p>	<p>引き続き療育スペースの確保と密を避けるために1号室と5号室に分かれて療育を行っています。また、パーテーションや小さな空間を用いてお子さんが集中しやすい環境やクールダウンが出来る空間を整えたいと思います。 今年度より、保護者の方に療育の様子を見ていただく機会を設けさせていただきました。お越しが難しかった方にはLINE等で療育中のお写真を送りさせていただきました。</p>
	2 職員の適切な配置	<p>【定員】一日の定員は10名までになっています。職員は、常時5名以上配置されています。 【専門性】スタッフは全員が有資格者です(保育士、臨床心理士、公認心理師、教員免許、児童指導員等)。スタッフの資格や経歴、好きなことを玄関の掲示やホームページにてお知らせしています。今後も、スタッフの専門性を活かした療育内容(カウンセリング、SST、制作、身辺自立等)を計画していきたいと思えます。 【カウンセリング】カウンセリングやプレイセラピーが必要な場合は臨床心理士や公認心理師の有資格者または受験資格のあるスタッフが対応するようにしています。</p>	<p>はい87.5% どちらともいえない8.3% わからない4.2%</p> <p>言語聴覚士さんがいるとさらに良いと思えます。心理士さんがいるので発達検査をこちらでできる点はとても良いと思えます。</p>	<p>feelでは保育士、臨床心理士、公認心理師、教員免許、児童指導員等の視点で様々な要因に対してアプローチを行っています。ご希望の方は心理士や受験資格者による発達検査や知能検査をおとりすることができます。 現在、言語聴覚士の資格保有者の勤務はありませんが、今後、言語聴覚士や作業療法士の資格を持った方が主催する研修を受けさせていただきたいと思えます。</p>
	3 本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障害の特性に応じた設備整備	<p>玄関や勝手口等の段差については借家のため改修が難しく、ご不便をおかけしております。 お子さんへの分かりやすい支援として、特性に応じて、絵カード等の視覚支援やICT(パソコン・タブレット)の活用、スケジュール化等を行っています。来所時のお支度の流れが分かるように写真で掲示をし、終わったら写真の掲示を剥がせるように裏にマジックテープをつけています。 おやつを選ぶ時には操作できるレプリカの硬貨を活用したり、体調や気分を指差しで表現できるようにバロメーターの表を掲示するなどの視覚支援を行っています。 課題の後にごほうびのシールやお子さんの好きな玩具等を準備することで、達成感を感じていただけるよう工夫しています。 プログラム活動時には、見通しが持てるように事前予告の声かけを行ったり、タイマーを使用して切り替えのタイミングをわかりやすくしたりしています。また、活動に不安を抱きやすいお子さんには事前に活動内容を共有したり練習したりしています。 玩具の棚は片付けやすいように写真を貼って、どこへ片付けるかお子さんにとってわかりやすくしています。</p>	<p>はい87.5% どちらともいえない4.2% わからない8.3%</p>	<p>今後もお子さんの特性に応じて、教材や環境を調整し、継続して取り組んでいきます。</p>
	4 清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	<p>熱中症や脱水症状を起こさないように、一年を通して活動の合間や30分に1回お子さんに水分補給を促しています。 感染症予防のために一年を通して常時換気をしています(小久保事業所は猛暑日等に非常に建物内が暑くなります。そのため、猛暑日等は熱中症予防のため、1時間半に1回5分程度換気します)。 個別療育やおやつのは使うたびにアルコール消毒を行ったり、玩具や触るもの(ドアノブなど)に毎日アルコール消毒をしたりしています。また、おやつ前とおやつ後は手洗い、アルコール消毒を徹底しています。 秋冬は1,5号室に加湿器を置き、風邪やウイルス感染の予防につなげています。</p>	<p>はい95.8% わからない4.2%</p> <p>真夏に冷房の故障があったが、別部屋で対処していただき安心した。</p>	<p>お子さんが清潔で心地よく安心して過ごせるように、継続して掃除や環境を整えていきたいと思っています。引き続き毎日の掃除機での清掃とアルコールでの床拭き清掃、学期に1回の大掃除の実施を行っています。 冷房の故障について、ご心配とご迷惑をおかけ大変申し訳ございませんでした。ご利用の方には冷房の効いているほかの部屋への移動をお願いいたしました。サーキュレーターの後ろに凍らせたペットボトルを設置し、部屋の温度が下がるようにさせていただきました。新しいエアコンの購入について検討しております。</p>
1 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画	<p>毎日、職員間での情報共有、目標や行動、プログラムの振り返りを行っています。また、月に1回所長・管理職会議を設け、業務改善につながる話し合いを行っています。</p>		<p>継続して取り組んでいきます。</p>	
2 第三者による外部評価を活用した業務改善の実施	<p>他事業所間での情報共有やプログラム、研修内容等、情報交換をしながら業務改善を図っています。</p>		<p>継続して取り組んでいきます。</p>	

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
業務改善	3 職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	スタッフの専門性を高めるために、内部研修を行っています。 2023年度の内部研修では、 ・WISC-V 知能検査 ・K式発達検査2020 ・虐待予防 ・カウンセリング ・ICTを活用した学習 ・起立性障害等を題材にして実施しました。 2023年度の外部研修では主に障害者福祉やお子さんのメンタルヘルス関係構築を題材にした外部の研修や、特別支援学校のオープンスクールに参加しました		引き続き研修を通して職員の資質の向上のために研鑽に励んでいきます。 2024年度の内部研修は ・WISC-V 知能検査 ・K式発達検査2020 ・虐待予防 ・カウンセリング ・楽しく毎日を過ごすために ・継次処理と同時処理 ・お子さまへの身体の不調への理解と関わり方～起立性調節障害(OD)を中心に～ ・就学相談(通級などの説明を含む) ・お子様への関わりについて等を題材にした内部研修を考えております。
適切な支援の提供	1 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等サービス計画の作成	新版K式発達検査2020、WISC-IV・V 知能検査、S-M社会生活能力検査、情報シートやチェックシートの活用、行動観察、保護者の方からの聞き取り等の多角的な視点からアセスメントを行い、支援計画を作成しています。 半年に1回聴き取りを行い、保護者の方の願いに即して作成させていただいています。	はい100%	継続して取り組んでいきます。
	2 子どもの状況に応じ、かつ個別活動と集団活動を適宜組み合わせた児童発達支援又は放課後等サービス計画の作成	集団のプログラムを実施する前に必要のあるお子さんに対して個別で内容を伝えたり練習を行ったりしています。また個別で取り組んだ後にお友だちと取り組むとどのように変わるのか等を考え、個別と集団が連動するような療育も行っています。		継続して取り組んでいきます。
	3 児童発達支援計画又は放課後等サービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	短期目標では1ヶ月～6か月でお子さんが達成できそうな項目にポイントをしぼり、普段の様子や保護者の方の聞き取り等を参考に具体的な支援を検討しています。支援目標を達成するために、具体的にどのような働きかけが必要かについて記載し、作成させていただいています。	はい100% お話しさせていただいた内容が他の支援員さんにも周知されていて安心し、きちんとした支援がされていると実感しています	継続して取り組んでいきます。 feelでは毎日ミーティングを実施し、ご利用の方の様子について職員全員が周知できる機会を設けております。
適切な支援の提供(続き)	4 児童発達支援計画又は放課後等サービス計画に沿った適切な支援の実施	日常生活における基本的動作や生活能力の向上を目指した目標をお子様の特性や発達段階に応じて検討し、設定しております。 半年に一度、保護者の方の意向をお聞きし、支援計画の見直しを行い、支援の方向性について確認・共有をさせていただいております。	はい95.8% わからない4.2% ・出来れば、利用ごとに活動中の我が子の画像をLINEなどでも個別に欲しい。 ・その日のプログラムと目的が連絡帳に書いてあるのでわかりやすいです ・作業療法的なことがもっとできたらなあと思います。お箸の練習等。	・お子さまの療育の様子について、今年度から半年に1回保護者の方にご覧いただく機会を設けております。ご来所が難しい方には療育中のご様子がわかるお写真をお送りさせていただいております。 ・前述(環境・体制整備 2職員の適切な配置)のように今後、作業療法士や言語聴覚士の資格を持った方が主催する研修に参加させていただきたいと思います。
	5 チーム全体での活動プログラムの立案	SST、制作(ビジュントレーニング)、運動、英語音楽のプログラムについて2名以上のスタッフでチームを組んで立案し、立案したものをミーティングの中でも協議しています。		継続して取り組んでいきます。
	6 平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援	降園後に利用される平日は、本人の気持ちや体調等に応じて個別療育や余暇など活動する順番を考慮しています。 長期休暇時には玩具の制作、水遊び等、普段しない活動を取り入れることで楽しみながら課題に取り組めるようにプログラムを考えています。 長期休暇中はご希望に応じて、生活習慣が変わることが苦手な午後利用のお子さんに、午前にご利用していただくなど、お子さんの特性に応じて柔軟に対応をしています。		継続して取り組んでいきます。
	7 活動プログラムが固定化しないような工夫の実施	小集団活動では、2週間ごとにプログラムを変更し、SST、ことば音楽、運動、英語あそびなどの活動を行っています。また、計画したプログラムでもその日のお子さんの様子に合わせて柔軟にアレンジし、参加しやすくなるよう工夫しています。 個別療育では、お子さまの理解度に合わせたり、興味のあることなどを取り入れたり、お子さまと保護者の方からのニーズをお聞きしたりしながら内容を考えています。 長期休暇時には水遊びや外遊び、玩具の制作等、いつもとは違う活動をしています。	はい91.7% わからない8.3%	椅子取りゲーム(新聞紙で代用)、かくれんぼ、神経衰弱などのカードゲームやすごろくなどのボードゲームなど、就学に向けた小集団での遊びも実施していきます。
	8 支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	週はじめに各プログラムの教示方法や注意点についてスタッフで共有したり、ロールプレイや話し合いを行ったりして、プログラムのイメージがしやすいように工夫しています。		継続して取り組んでいきます。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
9	支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化	次に出勤するスタッフに情報が共有できるよう、小集団活動のプログラムについて良かった点や反省点を記述したり、小集団活動のチェックリストにスタッフの振り返りを記載したりしています。日々のMTGで毎日のお子さんの様子やうまくいった対応、今後の取り組みについて共有しています。また、メモやホワイトボードを活用する等して、必要な引継ぎを行っています。		継続して取り組んでいきます。	
	日々の支援に関する正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	個別、小集団療育ともに保管用の記録と保護者向けのスケジュールを連絡帳に記載しています。ミーティングを通して、気になったことやよかった支援などを話し合い、良かった支援はスタッフで共有して継続しています。		継続して取り組んでいきます。	
	定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し	ミーティングの中で計画の見直しをし、1～6ヶ月に一度はモニタリングを行っています。		継続して取り組んでいきます。	
関係機関との連携	1	子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議へり参画	日程調整ができた際には、児童発達支援管理責任者、個別担当が出席し、情報共有や役割分担について話し合っています。	継続して取り組んでいきます。	
	2	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施	現在、医療的ケアが必要なお子さんにご利用されていませんが、保護者の方のご要望に応じて保健、医療、障害福祉、学校との情報共有や支援会議を実施しています。	継続して取り組んでいきます。	
	3	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備	現在、医療的ケアが必要なお子さんにご利用されていませんが、お子さんが通院している病院との連携のため主治医からのアドバイスを参考にさせていただいたり、協力医療機関(あだちこども診療所:加古川)と情報提供・共有をさせていただいています。	継続して取り組んでいきます。	
	4	児童発達支援事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間での支援内容等の十分な情報共有	お子さんが通われている保育所や幼稚園等の担任の先生と必要に応じて支援方針や対応について情報共有させていただいたり、訪問活動を通じてより細かな移行支援につなげたりできるように働きかけています。	継続して取り組んでいきます。	
	5	放課後等デイサービスからの円滑な移行支援のため、学校を卒業後、障害福祉サービス事業所等に対するそれまでの支援内容等についての十分な情報提供、	卒業後に、障害福祉サービス事業所をご利用の方がこれまでにおられなかったのですが、今後もしご利用の方がおられましたら、必要に応じて情報提供・共有ができればと思います。	継続して取り組んでいきます。	
	6	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	各スタッフが学会や社会福祉協議会、兵庫県や明石市主催の研修を受けています。	継続して取り組んでいきます。	
	7	児等発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと活動する機会の提供	現在は行っておりませんが、お子様の活動に合わせて地域の公園などに行くことがあります。	はい50% どちらともいえない16.7% いいえ20.8% わからない12.5%	今後活動できる機会がありましたら検討したいと思っています。
	8	事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営	毎朝の事業所前の清掃活動時に地域の方とお話をさせていただいたりすることで、どのような事業所かを知ってもらい、ご相談しやすくなるよう努めています。		co-op西明石の2階での地域交流会や和坂マルシェで相談会を参加させていただきました。
1	支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	最初の契約時に、支援計画の説明、利用者負担等についてご説明させていただいています。変更があった際には、その都度ご説明させていただき、同意を得ています。	はい100%	継続して取り組んでいきます。	
	2	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	支援計画の書類を提示しながら、支援目標や支援方法についてご説明させていただき、その中で成長していることや気になること等について保護者の方と情報共有したり、対応についてのアドバイスをさせていただいたりしています。	はい100%	継続して取り組んでいきます。
	3	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施	保護者の方向けに学期ごとに1～2回(今年度は5月『同時処理・継次処理』7月『就学相談について』9月『ICTを活用した学習について』実施済み、2月『お子さまへの関わり方について』実施予定)、計4回のペアレント・トレーニングの研修をさせていただくことで将来を考えるきっかけ作りや進路の見通し、園などへのお子さんの情報共有や話し合いの仕方などを学んだりする機会に繋がるようにしています。	はい91.7% どちらともいえない4.2% わからない4.2% なかなか発言ができず、申し訳なく思っています	できるだけたくさんの方が参加しやすい日程での実施を考えております。 参加されている保護者の方にお話しいただきやすい雰囲気づくりに今後努めます。2023年11月より対面での研修・交流会を実施しておりますので、オンラインよりもお話をさせていただきやすくなるかもしれません。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
保護者への説明責任・連携支援	4	子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底	<p>毎のご利用時に連絡帳でお伝えしております。保護者の皆様にもご質問や相談を連絡帳に記入していただいたり、必要に応じて事業所内相談支援をご利用していただくことで、共通理解できる場を設けております。</p> <p>はい100%</p> <p>⑧の欄に記入しました ➡(内容)その日のプログラムと目的が連絡帳に書いてあるのでわかりやすいです</p>	ご利用の際に療育内容とそのねらいを連絡帳に記入させていただいております。今後も継続して取り組んでいきます。
	5	保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施	<p>年に二回のモニタリングでお話させていただいております。必要に応じてカウンセリング(事業所内相談)をご利用いただきお話しする場を設けております。ホームページで研修資料をご覧いただいたりダウンロードしていただいたりすることができます。 https://cocotoko.com/2020-06-18-01-22-46</p> <p>はい91.7% どちらともいえない8.7%</p>	年に二回のモニタリングでお話をさせていただいたり、送迎の際にお話をさせていただいたりしております。ご相談いただいた内容について、保護者の方にその場でお伝えをさせていただくほか、他スタッフとも共有させていただき、療育で取り入れさせていただいております。
	6	父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援	<p>研修後お時間の許す方は保護者交流会にもご参加いただき、日々お子様への関わりなど、保護者の方向士で工夫しておられることなどを情報共有する場として活用させていただいております。</p> <p>また今年度から保護者交流会のみの開催も実施しており、コロナ感染予防の観点からZoomを使用しての交流会でしたが、この11月からは直接事業所に足を運んでいただき対面での保護者交流会を開催する予定です。</p> <p>はい79.2% どちらともいえない8.3% わからない12.5%</p>	保護者の方向士の研修会の後に保護者交流会を開催させていただいております。11月から対面での研修会と交流会を実施させていただきました。
	7	子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	<p>契約時に苦情相談の担当者や事業所以外での窓口についても説明しています。普段から気になったことを相談しやすいような関係性作りを継続していきます。</p> <p>はい83.3% どちらともいえない8.3% わからない8.3%</p>	療育に関する保護者の方からのご要望について他スタッフとも共有をさせていただいております。今後も、ご相談いただきやすい関係づくりを継続してまいります。
	8	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮	<p>お子さんや保護者の方とお話をする際には、口頭だけではなく、メモやLINE、メール等、後で見ても分かる形にしています。行き違いが生じることがなくなるよう、お電話や直接お話しさせていただいた内容を改めてメモやメール等でお伝えすることを心掛けています。</p> <p>お子さんの特性によって、文字を紙に書いたり、絵で表したり、大事な話を先にしたり、何回かに分けてお伝えしたりしています。</p> <p>はい95.8% どちらともいえない4.2%</p>	送迎時などにお話しをさせていただいたご案内やご確認事項などの内容につきまして、保護者の方との間に相違が無いようにLINEやメール等で改めてお伝えをさせていただいております。お子さんとお話をする際、特性に応じて、イメージしやすいように写真や絵などを用いたり、実物を見てもらったりしてお話をさせていただいております。
	9	定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信	<p>1か月分の活動内容は月に1回土曜日にブログやInstagramにアップしてお知らせしています。行事やアンケートがあるときにはお便りを配布したりLINE等でお知らせの配信をしています。</p> <p>月に1回お子さんへの対応等についてYouTubeで発信し、いつでも見られるようにしています。また、ホームページに内部研修の資料を掲載しています。</p> <p>はい91.7% どちらともいえない4.2% わからない4.2%</p>	<p>ブログ : https://cocotoko.com/ Instagram : https://www.instagram.com/feel_since2017/ 上記に月に1回ブログをアップしております。</p> <p>YouTube : https://www.youtube.com/@user-ji6tv9jg2e/videos 上記に月に1回お子さんへの対応等について発信しております。</p> <p>夏休み期間中の水遊び等、いつもと違う活動をする際は事前にお知らせをさせていただいております。</p>
	10	個人情報の取扱いに対する十分な対応	<p>・契約時の個人情報についてこのアンケートをもとに、玄関やブログの掲示を考えたり、個人情報は鍵付きの書庫に片付けたりしています。また鍵付きの書庫は、閉所後に施錠しています。</p> <p>・スタッフとの雇用契約時に個人情報の秘密保持や取り扱いについての注意喚起・説明を行っております。</p> <p>・個人情報に関わることは複数のスタッフで確認する等の組織作りを行っていきたく思っております。</p> <p>はい95.8% どちらともいえない4.2%</p> <p>事業所側が利用者の個人情報記載の紙を別利用者に誤って渡してしまう件が一度ありました。その後、個人情報の取り扱いなどを慎重に確認するよう徹底されており、安心しました。</p>	個人情報の取り扱いについて、ご迷惑とご心配をおかけし大変申し訳ございませんでした。他事業所(feel大久保・feel小久保Ⅱ・feel西明石)のスタッフ間とまずぐさま共有し、再発防止のための取り組みを話し合い、今後の対応策をお伝えさせていただきました。
	1	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底	<p>緊急時の対応については契約時に説明し、防犯についてはSSTの中で不審者対応を行ったりしています。</p> <p>感染症についてはマニュアルに基づいて対応を考えています。</p> <p>各マニュアルをどなた様にも閲覧・確認していただけるようにホームページに記載しております。 https://cocotoko.com/nursing</p> <p>はい100%</p>	継続して取り組んでいきます。
2	非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施	<p>地震・不審者・水害・てんかん発作・嘔吐処理等への対応や避難訓練を実施し、水やお菓子の備蓄をしています。避難訓練は、学期ごとに1回以上実施しています。</p> <p>はい79.2% どちらともいえない4.2% わからない16.7%</p>	避難訓練について、学期ごとに1回以上実施しております。ブログやInstagramで実施内容を報告させていただいております。	

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
非常時等の対応	3 虐待を防止するための職員研修機の確保等の適切な対応	新人スタッフ、継続スタッフそれぞれに虐待防止の研修を行ったり、毎日のミーティングの中で子どもへの対応について話し合ったりしています。また虐待防止委員会を立ち上げて年に2回話し合いの場を設けています。 全スタッフに対して年に1回ストレスチェックを実施し、結果を虐待防止に活用しています。		継続して取り組んでいきます。
	4 やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明・了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載	半年に一回保護者の方とお話をさせていただき、ご署名をいただいています。また年に2回以上会議の場を設けて職員の話し合いもおこなっています。		継続して取り組んでいきます。
	5 食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	食物アレルギーがあり、指示書が必要な方には記載していただき、支援員がすぐに確認できるようにアレルギーのあるお子さんの名前をおやつ棚に表記しています。		継続して取り組んでいきます。
	6 ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	お子さまの安全に関係する事等、ミーティングで話し合った後に、ヒヤリハット報告書を作成し、対応策を考えています。 また大久保・西明石・小久保Ⅱの事業所とも個人情報を伏せた上で情報共有を行い、同様の状況が起こらないよう努めています。		継続して取り組んでいきます。

・送迎をしてもらえるようになったらありがたい。

➡いつもお忙しい中、送迎にご協力をいただき大変感謝しております。事業所の前の駐車場の番号がないスペースにも駐車していただけます。その際は他のご利用者様へのご配慮をお願いいたします。また明石市ファミリーサポートで送迎を利用していただくこともできます。明石市ファミリーサポートは幼児教育・保育の無償化の対象になります(原則、満3歳になった後の4月1日から3年間は無償化対象となります)。ご興味のある方は直接お問い合わせいただけましたらと思います。(明石市ファミリーサポートご連絡先:078-915-1277)

・いつも親子を支えて頂いて感謝しています。feelさんがこれからも末長く続き、feelさんのような事業所が増えていくと良いと思います。支えてくれる先生方に感謝します。ありがとうございます。

➡温かいお言葉をありがとうございます。今後もお子さんや保護者の方に安心してご利用いただけるように職員の日々の研鑽やご利用の皆様との関係性づくりに継続して取り組んでまいります。